

おおだて 市議会だより

令和7年11月1日 158号



(達子森と田んぼ)

議案等の審議結果	▶	2
一 般 質 問	▶	4
行政視察報告	▶	10
常任委員会から	▶	11
私もひとこと	▶	12



YouTubeで公開中

議案等の審議結果

令和7年9月定例会は8月25日～9月26日に行われました。令和7年9月定例会では、専決処分の承認1件、条例案9件、補正予算案11件、決算の認定19件など、合計55件の審議を行い、全て承認・可決・認定されました。



審議の主な内容をお知らせします。議決結果の一覧は二次元コードからご覧ください。

令和7年度大館市一般会計補正予算案

◆除雪費・除雪関連費追加	4億5,936万9,000円
◆予防接種費	2,756万円
◆比内地域コミュニティバス事業費	2,187万4,000円
◆鳥獣被害防止総合対策交付金事業費	1,645万1,000円
◆8月の大雨の災害復旧費	2億4,443万8,000円
◆9月の大雨の災害復旧費	1億3,409万4,000円
など、補正総額12億5,453万1,000円	

議員の定数を定める条例の一部改正

人口減少などの社会情勢を考慮して、議員の定数を現在の26人から4人減らし、22人に改正。次の一般選挙から、大館市議会の議員の定数は22人となります。採決結果は以下のとおりです。

提案理由



石垣 博隆 議員
(真政会)

議員定数が現在の26人となったのは平成31年4月の大館市議会議員選挙からであり、その後も定数削減について随時検討を進めてまいりました。しかし、その間人口減少はますます進み社会情勢は絶えず変化し、市民福祉の向上に資するためには議会改革を早急に進めることが必至の状況になりました。そのためには議員定数の削減が必要として、議会改革協議会の議題の中心に据え、人口や面積、類似市の議員定数との比較など、多面的な見地からこれまで何度も議論を積み重ねてきたところであります。会派の意見は、途中4人減、2人減、現状維持の三つに分かれてましたが、我々市議会議員は市民の声を市政に反映させるという責務がある中で、広い面積を持つ本市においても、その声を拾う手段・方法についてより一層精進することにより、減員は十分対応可能であると決断し、総合的に勘案した上で意見の多数を占める「4人減」とすることとした次第であります。

以上のことから、地方自治法第112条及び大館市議会会議規則第14条第1項の規定により、議員定数26名を22名に削減する「大館市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案」を提出するものであります。

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

会派等 議員名	令 和 会								無所属	日本共産党	公明党	真 政 会								市民の風						議決結果		
	吉田勇一郎	菅原 喜博	田中耕太郎	花岡 有一	伊藤 毅	秋元 貞一	佐々木 公明	武田 晋	藤原 明	今泉まき子	伊藤 深雪	小畑 新一	佐藤 和幸	金谷 真弓	明石 宏康	柳館 晃	田村 秀雄	田村 儀光	石垣 博隆	伊藤 励	工藤 賢一	花田 強	岩本 裕司	相馬エミ子	吉原 正		佐藤 芳忠	
案件名	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	
議案乙第4号	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	原案可決

可否同数の場合は議長が決します。

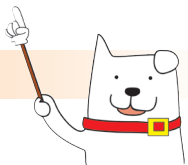




陳情の審議結果（不採…不採択、趣旨…趣旨採択、継審…継続審査）

番号	件 名	採 択	不 採	趣 旨	継 審
陳情第18号	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情		○		
// 第23号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情				○
// 第30号	市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情				○
// 第32号	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書 採択に関する陳情書				○
// 第33号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書			○	
// 第34号	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情書			○	
// 第35号	再審法改正（刑事訴訟法の一部改正）の意見書の採択を求める陳情書				○
// 第36号	旧花岡川P F A S 汚染の原因究明および対策をもとめる陳情書				○

令和6年度決算特別委員会



特別委員会を設置し、それぞれで令和6年度決算の審査・認定を行いました。

令和6年度一般・特別会計決算【審査日 9月17日～19日】

一般・特別会計決算特別委員会

- ◎佐々木公司（令和会）
- 田中耕太郎（令和会）
- 武田 晋（令和会）
- 佐藤 和幸（真政会）
- 伊藤 励（市民の風）
- 岩本 裕司（市民の風）
- 金谷 真弓（真政会）
- 伊藤 毅（令和会）
- 伊藤 深雪（公明党）
- 石垣 博隆（真政会）
- 花田 強（市民の風）
- 相馬エミ子（市民の風）



令和6年度企業会計決算【審査日 9月22日、24日】



企業会計決算特別委員会

- ◎秋元 貞一（令和会）
- 吉田勇一郎（令和会）
- 今泉まき子（日本共産党）
- 田村 秀雄（真政会）
- 工藤 賢一（市民の風）
- 佐藤 芳忠（市民の風）
- 菅原 喜博（令和会）
- 花岡 有一（令和会）
- 柳館 晃（真政会）
- 田村 儀光（真政会）
- 吉原 正（市民の風）

◎委員長 ○副委員長



いとう りゅう
伊藤 励
(市民の風)



扇田病院の機能存続について

〔問〕 全国の自治体病院の85%が経常収支赤字、95%が医業収支赤字の状況にあるが、扇田病院は外来・在宅医療、訪問看護、地域包括ケア病棟や療養病棟により高齢者や家族の安心を支える重要拠点である。その機能を今後どのように存続・維持していくのか。

〔病院事業管理者〕 扇田病院は4月から40床1病棟体制へ移行し、病床稼働率9割を維持しているが、令和6年度決算では資金不足比率が77・3%と厳しい状況である。地域医療を守るため、北鹿ヘルスケアネットでの連携を強化し、外来・在宅医療や健診事業など必要な機能を持続できるよう人材確保にも努める。

水害への対策について

〔問〕 気候変動で豪雨災害が増える中、全国各地で止水板補助制度が導入されている。大雨で住宅や車庫が浸水し、住民は泥水のかき出しなどが大きな負担となっている。本市でも防災・減災の観点から制度を導入してはどうか。

〔市長〕 内水氾濫リスクを踏まえ、ハザードマップ更新や堆積物除去を進めるとともに、設置効果を検証した上で止水板補助制度の導入を検討する。



止水板

大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます



街路樹の剪定と長木川の桜の管理



そうま えみこ
相馬 エミ子
(市民の風)



〔問〕 夏になると街路樹の剪定作業をしているのを見掛けるが、終わった後の街路樹を見てがっかりする。夏場は木陰を作り人々に潤いと安らぎを与えてくれる街路樹が、見事に短く、枝も葉もなくなっている。街路樹は、大館市の街そのものに対する評価につながる大事な問題である。財源不足が理由であれば沿線の町内会の方々に依頼する道路の里親制度を進める方法もある。

次に長木川の桜の管理について伺う。4月になると桂城公園や長根山等でも桜の花が一斉に咲く。特に長木川の堤防沿いの桜は桜並木として人気を集めているが、所

々途切れている箇所が見受けられる。桜の名所にするためにも桜の木々の点検をしてはどうか。また、この機会に花岡川等、市内の桜等の点検を要望する。

〔市長〕 長木川の桜の管理は、平成25年の桜再生会議を母体とし樹木医の助言を基に樹勢の回復や保全に努めている。街路樹についても民間事業者の協力を得ながら維持管理をしている。

里親制度については地域と共同で除草や公園の美化等に努めている。

観光拠点としての秋田犬の里の今後について

〔問〕 令和元年5月8日に秋田犬の里がオープンしたが、市民の評価が意外と低く驚いた。飲食ができないことについて、きりたんぽ協会等と話し合っているのか。

〔市長〕 秋田犬の里でのきりたんぽ等の提供については、地元飲食店への配慮等で見送った経緯がある。周辺の飲食店の紹介や街歩きを促すなど、滞在型観光への転換を図り地域活性化につなげたい。



LINE公式アカウントの今後の運用と道路通報機能の追加を

〔市長〕 ルールを守っていない家庭ごみについては、収集できない理由を記載したステッカーをごみ袋に貼り、収集しないこととしている。燃やせるごみや資源ごみの排出量は年々減少傾向にあるが、収集回数を減らすことについては、市民の皆さまのご理解が必要となる。引き続き、分別ルールの徹底を呼び掛け、適切な収集に努める。

家庭ごみ収集のルールの見直しをするべき



伊藤 深雪
(公明党)

〔問〕 現在、市の公式LINEは、情報配信とAIチャットボット機能があるが、行政手続きのオンライン化など、今後どのような運用拡大を考えているか。また、LINEによる道路通報機能は、道路に関する異常をマップによる位置情報や写真で送信でき、24時間受け付けられることで迅速な対応が可能であることから、道路通報機能の追加をするべき。

〔市長〕 全てをLINE上で実現するのではなく、それぞれの業務で最適なシステムを選択し、LINEがその入り口になるような運用を考えている。市民の利便性向上に向けたオンラインサービスの拡充に向け検討を進める。道路通報機能については、国土交通省のLINE版道路緊急ダイヤルによる利用状況等を評価している。これは、国道・県道・市道の区別なく通報窓口が一元化されているため分かりやすく、このダイヤルを経由した通報はスムーズな対応につながっている。市公式LINEの道路通報機能の導入にはユーザーのニーズを把握し検討する。



12月中旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



経歴詐称疑惑について



田村 儀光
(真政会)

〔問〕 リーフレットの内容について、時系列に疑義があると思われる。改めて①大学からのメールの公開、②一般社団法人DMMアカデミー入社の証明書の公開、③答弁次第では会派と相談の上、百条委員会の要請も考えようと思うが、正直な答弁を求める。

〔市長〕 私の経歴に関して私自身がこれまでに発信した情報については、詐称が疑われる内容はない。大学側に公開してもいいかどうかの確認の連絡はしており、大学側から、重要な事項であるため少し時間がほしい旨の返答をいただいている。返答をいただいた上で、対応できる状態になれば公開も含めてしっかりと検討したい。

スタートアップ事業について

〔問〕 先の6月議会的一般質問で、AIを活用したオンラインリハビリ実証事業を8月以降に行うと答弁されたが、すでに9月である。いつからといった形で事業を始めるのか、また実証事業が市民生活や市にどのような恩恵や貢献をもたらすのか、市長の考えを伺う。

〔市長〕 現在、10月からの実施に向けた最終調整に入っているとこである。実証は60歳以上の方を対象とし、遠隔地のトレーナーとモニター越しに運動を行うもので、実証後のデータを分析その効果や事業化に向けた検証を行うこととしている。





佐々木 公
(令和会)

奥秋田サステイナブル ツーリズムプロジェクト について

〔問〕 事業展開はどのようになっているか。

〔市長〕 秋田犬ツーリズムでは、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金事業を活用している。また、秋田犬の里での来館者満足度向上を計画している。

熊対策について

〔問〕 児童・生徒の登下校への対応は。

〔市長〕 熊撃退スプレーや忌避剤を配布し、適切かつ効果的な活用を配慮している。また、出没情報をメールやLINEで周知し、注意喚起を行っている。

〔教育長〕 熊よけ鈴を全児童・生徒に無償貸与した。また、関係機関と連携した通学路の安全点検を実施している。

記録的大雨等への対応 策について

〔問〕 今回の記録的大雨等への対応は。

〔市長〕 土砂災害警戒情報の発表後、災害警戒対策室を直ちに設置し、関係部署と情報共有を図るなど、迅速な対応に努めた。

危険な暑さへの対応 について

〔問〕 熱中症対策の徹底を。

〔市長〕 市広報やホームページで注意を呼び掛けている。熱中症警戒アラート発表時には市公式ラインの活用により、熱中症予防を促している。

台湾トップセールス について

〔問〕 手応えはどうであったか。

〔市長〕 関係機関と誘客に向けた情報交換を行い、本市の観光資源の潜在的需要の高さを認識した。また、旅行会社に対する予約方法の周知の重要性を確認した。

その他の質問

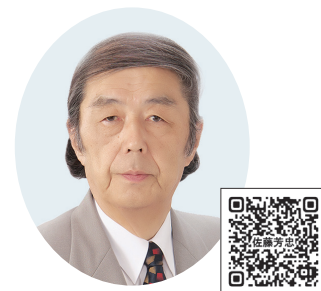
- ・婚活ガイドについて
- ・男女共同参画の視点から見た魅力ある地域づくりについて
- ・「温泉で元気に、温泉を元気に！」で大滝温泉再生への取組を



大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます



6万4千人の市民の命は12億5千万円の市費で守られています。総合病院は扇田病院の廃止を考えていますが、今まで通り市が赤字を補填すれば、扇田病院と総合病院はこれからも市民の命を守り続けることができます。市長のお考えをお聞かせください。



佐藤 芳忠
(市民の風)

〔問〕 6年度の総合病院の赤字は9億8千万円。扇田病院の赤字は2億7千万円。2つの病院の赤字は12億5千万円。病院事業経営強化プランでは「扇田病院は在宅療養支援病院として地域に密着した医療の提供に貢献しており、今後地域包括ケアシステムの在宅療養支援病院として地域医療の提供を継続していくべき」としています。総合病院が外来の軽減を進め、扇田病院の2万2千人の外来患者は引き受けられないとしているからです。

市は市内7ヶ所で地域包括ケアシステムを行うとしています。3ヶ所、十二所・上川沿、旧比内町、二井田・真中地区では、扇田病院

を中心に県内最高レベルの地域包括ケアシステムが行われています。扇田病院が診療所になればシステムが崩壊します。市民の命を守るため、市立病院の赤字を市費で補填し続けるのか否か。

〔市長〕 扇田病院につきましては、開設者として、赤字を理由に廃止するという考えは持っておりません。可能な限り経営改善を図りながら、必要な医療の提供が持続できる機能や形態を模索しなければならぬという認識のもと、病院事業管理者との協議を進めているところであります。市立病院としては、人口減少や患者数の減少、医療・介護需要の変動が見込まれる中において、地域に求められる医療を提供し続けていくことが最も重要であると考えております。市では、医療・介護・生活支援を効率的に提供するため、『分散型ちいさな拠点』の整備を進めることとしており、市内全域で持続可能な地域包括ケアシステムの構築を目指しているところであります。

地域包括ケアシステムの中で、市立病院の医療機能を中心としながら、地域の医療機関や介護施設と連携する体制の構築を目指すことにより、将来に渡り市民が住み慣れた地域で、安全、安心に暮らし続けることができるよう取り組んでまいります。



〔市長〕 本市の農作物や道路などのインフラの被害の実態はどうなっているのか。被害への対応と、どのような支援ができるのか。

〔市長〕 土木関係では市道や河川など67カ所で、被害額は1億1435万円、農業関係では農地41カ所、農業用施設123カ所で被害額は4億247万円、林野関係では林道161カ所で被害額は9926万円、その他市有地の被害も含め、被害総額は6億1658万円である。災害復旧事業に係る費用等の補正予算案は本定例会に追加提出を予定している。

記録的大雨の被害について



はな おか ゆう いち
花岡 有一
(令和会)

健康影響が心配される有機フッ素化合物（PFAS）について

〔問〕 本市では実態把握の調査や検査を行っているか。また、健康リスクがあるとされる下水汚泥を原料とした肥料や土壌改良剤などを利用しているか。

〔市長〕 県の処理施設で検査は行っていない。県北地区の下水汚泥は農業用肥料として利用していない。

市のコンピューター網の安全性の確保について

〔問〕 安全性の確保のため具体的にどのような取り組みをしているか。

〔市長〕 インターネット系、業務系、情報系の各層の間にファイアウォールや侵入検知システムなどの対策をしている。また、自治体情報セキュリティクラウドを活用している。

12月中旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。

令和8年度予算編成について



いま いづみ ま き こ
今泉 まき子
(日本共産党)

〔問〕 子育て支援のため、保育料無償化、学校給食無償化、18歳までの医療費無料化を。

〔市長〕 本市においては、経済的な支援以外の施策拡充により総合的な子育て支援策を講じていくことが重要と考えている。

〔問〕 簡易トイレ、生理用品、紙おむつ等、災害時の避難所備蓄品充実のための予算確保を。

〔市長〕 災害時備蓄品については、県の地域防災計画に基づき初期対応に十分な量を備えている。また、県外の自治体との災害時相互応援協定を締結しているほか、民間企業と災害時における物資の供給協力に関する協定を締結して供給体制を整えている。

〔問〕 物価高騰から市民生活を守るための予算を。

〔市長〕 今後、市としては国の動向を踏まえながら効果的な施策を検討し、必要な支援を適切なタイミングで講じていく。

訪問介護事業所への緊急支援を検討すべきでないか

〔問〕 市内の訪問介護事業所の経営状況をどう認識しているか。また、団塊世代が後期高齢者となっていく中、事業継続のために訪問介護事業所への助成を検討すべきでないか。

〔市長〕 地域におけるサービス提供体制は一定程度維持されていると認識している。サービス事業者の経営安定化には、地域の実情に即した制度の構築と介護報酬の見直しが必要であり、既に秋田県市長会を通じて国に働き掛けを行っている。地域の事業者のニーズの把握に努めていく。

その他の質問

・中央公民館へのWi-Fiの設置について



一般質問



く どう けん いち
工藤 賢一
(市民の風)

災害発生時における情報発信体制の整備について

〔問〕 災害発生時における避難所開設などの情報については、市民や市外に居住する親族も確認できるように、ホームページやSNSにも運動した視認しやすい周知体制が必要と考えるが、市長の考えは。

〔市長〕 災害発生時には様々な媒体を活用しているが、市のホームページは該当する情報が探しにくい構成となっていたため、簡単に必要な情報にアクセスできるようにトップページやメニューの構成を見直すなど整備した。今後も改善に努める。

「大館の歴史」改訂版発行の事業化を

〔問〕 平成4年に「大館の歴史」が発行されて以来、33年が経過している。この間、平成17年の旧比内町、旧田代町との合併や、片貝家ノ下遺跡・大館城跡の発掘調査報告など、アップデートすべき情報が増えている。合併20年を機に改訂版や増補版の発行を事業化しては。

〔市長〕 第一刷から33年、三刷りからも25年が経過しており、その間、市内各所の発掘調査など歴史が積み上げられていることから、改訂を検討してまいりたい。

医療分野の満足度向上

〔問〕 「大館の世論調査」中、医療の満足度が著しく低い状態が続いている。要因分析と改善策は。

〔病院事業管理者〕 地域医療の確保と医師不足解消が最大の課題である。クリニックスタートアップ支援事業やフューチャードクターセミナーなど、医療従事者確保の取り組みを進めていく。

その他の質問

・大館市病院事業経営強化プラン改定に当たっての客観性確保策

大館市議会YouTube公式チャンネルで議会の様子を視聴できます



地域の持続可能性の確保に向けた郵便局の利活用について



かね や ま ゆみ
金谷 真弓
(真政会)

〔問〕 地域の持続可能性の確保に向け、あまねく全国において利用されるよう設置が義務付けられている郵便局の利活用事業について、市長の考えは。

〔市長〕 本事業については、福原衆議院議員から紹介いただき、4月に大館郵便局と打ち合わせを行い、検討・連携の推進を確認している。また、郵政民営化法等の一部を改正する法律案が議員立法で提出されたことから、国の動向を注視し市民サービスの向上と地域活性化の推進に取り組む。

簡易水道事業等の新たな水質検査費用の補助は

〔問〕 簡易水道事業者は組合員で構成され、年間の水質検査に加え、令和8年4月からはPFOS・PFOAの新たな検査が課せられる。検査費用に市の補助体制を生み出す必要があると考えるが、市長の考えは。

〔市長〕 国では負担軽減のため、水質検査の結果によっては検査の頻度を減らすことができるとしている。市では、既に実施している施設設備の補助に加え、検査実施の補助について国・県・他市町村の動向を見て検討する。





たけだ すすむ
武田 晋
(令和会)

市長の政治姿勢について

〈問〉この1年の間に、市長は公約に挙げた事項について、どれほど着手したのか。私が見聞きした限りでは、スタートアップ事業と地域座談会しか浮かばない。公約実現に向けて、今後何をどのように取り組んでいくのか。

〔市長〕政策重点項目を8項目つづつた。各分野の課題を克服する人材を探し続けてきたが、ようやくめどがつきつつある。集落支援員制度や地域活性化起業人についても、導入に向けた準備を進めている。市民との意見交換を重ねる中で、少子化対策、起業や事業承継などの意見が多く寄せられた。これらの施策を市の最上位計画・おおだて未来づくりプランに盛り込むべく、見直し案を本定例会に示すことにしている。

学校再編(統合)について

〈問〉令和7年度児童生徒数、令和8年度から13年度児童生徒数・学級数推計報告書によると、小学校において、8つの小学校で複式学級を考える必要が出てきた。地域とともにある学校を念頭に、児童生徒の保護者、就学前の子どもの保護者、地域住民や学校支援組織と、まちづくりを含め、統合という問題の検討に着手すべきである。

〔教育長〕本市の現状を分類すると、適正規模の範囲にある学校が3校、適正より小さい小規模校が22校となる。さらに、特に規模の小さい過小規模校が4校で、令和13年には10校となる見込みである。集団の規模の大小にはそれぞれメリット、デメリットがあり、本市が抱える課題とその対策を明確にするため、地域住民及び有識者からなる学校環境適正化委員会を立ち上げ、今月下旬から議論していただく。校舎改築、統廃合等の物理的な適正化を含め、学校環境の整備について検討していきたい。

その他の質問

・喫煙所の設置について

12月中旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



よしだ ゆういちろう
吉田 勇一郎
(令和会)

デジタル地域通貨と行政ポイントについて

〈問〉地域内でお金を循環させるデジタル地域通貨と、汎用的なインセンティブとして活用できる行政ポイントについて、本市における検討状況はどのようになっているのか。導入の課題認識は。

〔市長〕デジタル地域通貨について地元商工団体と意見交換した。手数料負担と通貨発行主体が課題と考えている。先進事例の情報を共有しながら、民間主体の取り組みを後押ししたい。

外国人労働者に対する施策について

〈問〉市内の人手不足の現状や国の方針を踏まえると、本市での外国人住民は増加すると予測され

る。全国には外国人住民と地域社会との摩擦が報じられる例もある。外国人労働者やその家族を地域社会の一員として受け入れるために早めの施策が必要と考えるが、市長の考えは。

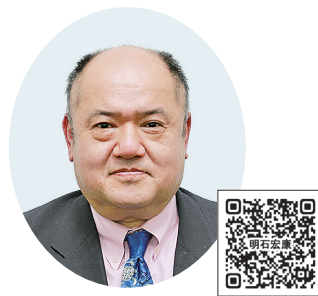
〔市長〕今後、外国人労働者の受入れは拡大していくと予想され、文化や習慣の違いによるトラブルを予防するために支援は不可欠と考える。市は民間企業による、外国人従業員の地域社会共生に向けた実証事業をサポートした。地元商工団体も外国人と地域社会との共生に向けたセミナーを開催している。関係機関と連携を図りながら、市民が安心した生活を送れるよう努めていく。

市役所駐車場への観光バス乗り入れについて

〈問〉バラまつりの期間、市役所駐車場での観光バス待機をしやすいとはどうか。

〔市長〕大型バスを2台程度駐車できるエリアがある。今後は空き状況に応じた利用を周知していく。





あかし ひろやす
明石 宏康
(真政会)

緊急銃猟について

〈問〉市街地でも発砲が可能になる緊急銃猟。幾つか条件があり、住民の避難や通行止めの措置などの安全確保が大きなハードルとなっている。住民の理解や協力が不可欠であり、ハンターや自治体だけでは運用できない。住宅地はもちろん、学校や病院、高齢者施設などへの周知・講習・訓練などの必要性も痛感している。

〔市長〕 9月1日より緊急銃猟制度の運用が始まったが、運用に当たっては通行制限や避難などの措置が必要で、市民の皆さまの理解と協力が不可欠である。制度そのものを知っていただくため、市の広報やホームページ等で周知を図っていく。駆除に当たる実施隊員をはじめ、県や警察とも情報共有

を図り、対応マニュアルの見直しや各種訓練の実施などを引き続き行っていく。

学校教育とゲームの共存について

〈問〉ゲーム依存による不登校の問題が現存しており、議論が委縮している。ゲームやeスポーツは世界で市民権を得ており、来年は国内でメダル競技としてのアジア大会もある。子どもたちの夢を後押しすることも未来への投資である。学校現場との意見の相違を乗り越えていきたい。

〔教育長〕 不登校の傾向を示す児童のうち、1割程度のゲーム依存やメディア依存が疑われる。メディアリテラシーの充実が学校の役割であるが、保護者の賛意、ゲーム等の利便性・危険性の理解が先決だと考える。



大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます



行政視察報告

厚生常任委員会（福岡県 みやま市）
ゼロカーボンシティみやまの取り組み
資源循環や再生可能エネルギーの推進により脱炭素社会の構築に取り組んでいる。
廃校を活用して建設したバイオマスセンターでの生ごみの資源循環や、地域新電力会社設立によるエネルギーの地産地消推進の取り組みは、本市にも大いに参考になるものであった。



総務財政常任委員会（東京都 板橋区）
LINE公式アカウント（行政サービス情報）
住民との円滑な情報共有や双方向のコミュニケーションの手段としてLINE公式アカウントを活用している。災害時の緊急情報発信やごみ出し通知、子育て支援などの多様な分野での活用事例が紹介された。本市でも8月1日から運用されているため、市民にとって分かりやすく、利用しやすい情報提供の実現が必要であり、大いに参考になるものであった。



建設水道常任委員会（和歌山県 田辺市）
田辺市景観まちづくりの取組み

複数の世界遺産を有する中、市内を特色に合わせた三つのゾーンに分け特定景観形成地域に指定している。さらに世界遺産周辺を景観形成重点地区として街並みの整備を行っている。今後も、田辺らしい持続可能なコンパクトシティを目指していくという計画は大いに参考になるものであった。



常任委員会から

総務財政常任委員会

集落支援員の導入について

人口減少や高齢化が進行している地域の活性化を図るため、国の交付金を活用して集落支援員を導入することが報告された。令和7年度にモデル地区と支援員の選定を行い、令和8年度から活動する。集落支援員は、見守りや生活支援、地域活動のお手伝いなど、市民と一緒に地域の課題解決に取り組む役割を担い地域力を維持・強化する上で大きな効果が期待される。



厚生常任委員会

大館市病院事業経営強化プランの点検・評価報告について

令和6年度、総合病院は医療収益が増加したものの、想定を上回る物価高騰や人件費の増加により純損失が拡大。圏域の基幹病院としての役割を担っていくためにも早急に収支改善策を講じていかなければならないとしている。扇田病院は入院患者数の減少等により純損失が拡大し、現状の機能のままで経営持続は厳しく、病床を持たない形態を含めたさらなる医療機能の見直しも検討せざるを得ないと分析している。この点検・評価結果を踏まえ、年内に経営強化プランの見直し案をまとめる予定である。



教育産業常任委員会

スタートアップサミットについて

スタートアップとの連携を加速し、ビジネスチャンレンジに開かれたまち大館のイメージ定着を図るため、10月11日にタクミアリーナで開催する。市が支援する実証実験の紹介や公民連携パートナー候補3社と市長との対談、参加企業とのビジネスマッチングが行われる。

ドローン物流実用化事業について

国の支援を活用し、ドローンによる医薬品や災害物資配送の実証を行う。9月から来年2月までの期間で、池内地区と大葛地区の区間で実施し、採算性や安全性などを検証する。委員からは事業者の選定方法やドローンの積載量などについて質問があった。



建設水道常任委員会

比内地域におけるバス路線再編について

比内地域を運行する3系統について、大館市街地までの運行形態から比内総合支所で乗り換える運行形態へと変更すると報告があった。交通空白地であった八木橋と板戸方面を加え、比内総合支所から各方面へのバスについては車体の小型化と減便を行う。委員からは地域住民の声を聞いて進めてほしいなどの意見が出された。令和8年10月からの本格運行開始を目指している。コミュニティバスの愛称は「ほほえみひない号」。



私もひとこと 第58回

さくら ば あき ひと 櫻庭 彰人さん

(館下)

～ Profile ～

大館が大好きな 37 歳の作業療法士。
「支え合い・助け合い」を通し温かい地域を作る
ため活動中。



「支え合いと助け合い
くつながりが大館を
もっと元気にする」

早いもので、帰郷してから7年がたちました。この間、世界は新型コロナウイルスという未知の感染症に見舞われ、価値観・生き方・生活様式等これまでの「当たり前」が大きく変化しました。そのような社会情勢の中、改めて意識されるようになったことは、「つながりの大切さ」ではないでしょうか。

私はこれまで、リハビリテーションの専門職である作業療法士として、医療・介護・福祉の分野で活動してきました。病やけがによりこれまでの生活が大きく変化した患者さま・利用者さまと向き合う中で、元気に回復していく皆様には共通点があることに気がきました。それは「人や地域とのつながり」が強い方ほど、より生き生きと回復されていくということです。そして、この「つながりこそ、地域作りのヒントそのものであるということです。

その思いと仲間たちの力強い後押しを受けて、このたび「支え合い・助け合いによる地域作り」を実践するべく、NPO法人を立ち上げます。私たちは、空き家を活用した地域の居場所作り（いきいきクラブ）・会員同士で生活の困りごとを助け合う有償ボランティア（いきいきお助け隊）。を主軸に、健康寿命日本一の大館を目指して取り組んでまいります。少しずつ活動を始めてまいりますので、応援していただけたら大変うれしいです。どうぞよろしく願います。



「私もひとこと」のコーナーでは、皆さんからの「なまの声」を募集しています。
議会事務局までご連絡ください。

傍聴

本会議傍聴の受け付けは、開会の15分前から行います。
市役所5階の傍聴席入り口で、受付簿に住所・氏名を記入すれば、どなたでも傍聴できます。
ぜひ、お越しください。

※傍聴席での発言や拍手、写真撮影等は禁止されていますのでご注意ください。

編集後記

大館に来て5年。8歳と5歳の娘にはたくさんのお祖父母がいます。下校時見守り隊のおじいちゃん、近所のおばあちゃん、地元大葛のじいじ、日曜日に遊んでくれるおばあちゃん。子どもたちはいつも大喜びです。都会に住んでいた頃は近所に知り合いも少なく初の子育てに翻弄されました。もちろん2人で取り組んだ奮闘子育ても良き思い出ですが、地域のおじいちゃんおばあちゃんたちに感謝が絶えません。



地域で育む子どもたちの将来に期待しつつ、私たちの子育ての奮闘はまだ続きます。

(佐藤 和幸 記)